

平成24年行政事業レビューシート

(内閣府)

事業名	地域再生の推進のための利子補給金の支給に必要な経費		担当部署	政策統括官(経済財政分析担当)		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	地域活性化推進室		参事官 宇野 善昌		
会計区分	一般会計		施策名	6-⑤ 地域再生支援利子補給金の支給				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	地域再生法第20条第1項		関係する計画、通知等	地域再生基本方針				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域再生を総合的かつ効果的に推進するという地域再生法の目的に資するため、投資を誘発し、地域経済を活性化させ、雇用の創出を図ること等を目的に、金融面での支援を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	認定された地域再生計画を基に、地域再生に資する事業の実施者が、予め国が指定した金融機関(以下「指定金融機関」という。)から当該事業を実施するうえで必要な資金を借り入れる場合に、予算の範囲内で、定率(0.7パーセント以内)で利子補給金を支給する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予 算 の 状 況	当初予算	61	73	122	171	238	
		補正予算	0	0	△15			
		繰越し等	0	0	0			
		計	61	73	107	171	238	
	執行額	25	66	95				
執行率(%)	41.0%	90.4%	88.8%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)	
	地域再生支援利子補給金の支援対象となる融資の額 (21、22年度の目標値は60億円。23年度の目標値は80億円)		成果実績	億円	47.5	65	110	80
			達成度	%	79.2%	108.3%	122.2%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	地域再生支援利子補給金の支援対象となる新規融資による民間投資総額		活動実績	億円	76.5	(120)	(120)	(160)
	地域再生支援利子補給金の支援対象となる新規融資による雇用効果(維持及び新規)		(当初見込み)	人	1,280	(879)	(800)	(800)
単位当たり コスト	303,748 (円/民間投資総額1億円当たり)		算出根拠	$X \times 0.7\% / (Y \div 1 \text{億円})$ X: 利子補給金の支給対象となる融資の額(平成23年度110億円) Y: 民間投資総額(平成23年度253.5億円)				
	29,178 (円/雇用効果1人・1年当たり)			$X \times 0.7\% / Y$ X: 利子補給金の支給対象となる融資の額(平成23年度110億円) Y: 雇用効果(維持及び新規)(平成23年度2,639人)				
平成24・25年度予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	地域再生支援利子補給金	171	238	平成24年度以前に締結した利子補給金に加え、平成25年度の新規契約があるため。				
計	171	238						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	地域再生を推進するためには、地域の創意工夫や発想を活かして行われる各種の事業に対して、国の的確な支援措置を講ずることが必要である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	事業者等に対する貸付けを行う金融機関で、内閣総理大臣から指定を受けたものに対して、政府が、予算の範囲内で、利子補給金を支給するものである。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	民間事業者の借入れに係る利子の一部に対する補給金であり、少ない予算で民間投資や雇用を誘発できる。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成22年度に、地域金融機関からの融資に初めて利子補給契約を締結し、平成23年度も新たな複数の地域金融機関からの融資に利子補給契約を締結し、着実に制度の浸透・活用が進んでいるところ。 平成23年度から、地域のニーズに応えられるよう、融資予定額を従来の60億円から90億円に引き上げ、所要の予算を確保したところ。 利子補給金は、小さな予算で民間投資や雇用を誘発することが可能であり、引き続き本利子補給金制度の活用を図ることとしたい。 なお、本利子補給金は、融資後5年間を支給対象としており、制度開始(平成20年度)後5年間は利子補給金予算額が増加する。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	事業の進捗状況の把握に努め、実態に即した適正な予算となるよう留意すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	事業の進捗状況を把握し、実態に即して積算した。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0043	平成23年行政事業レビュー	0044

※平成23年度実績を記入

内閣府

95百万円

〔 指定金融機関の指定、事業実施者の推薦等 〕



A : 指定金融機関
(6金融機関)

95百万円

〔 事業実施者への融資 〕



B : 国から推薦を受け、地域再生に資する事業を実施する事業者
(25社)
95百万

〔 地域再生に資する事業の実施 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

A.株式会社日本政策投資銀行			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
利子補給金	地域再生に資する事業の実施者に対する融資に係る利子補給金	81			
計		81	計		0
B.A株式会社			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
利子補給金	指定金融機関との間で行われた融資に係る利子補給金	23			
計		23	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	株式会社日本政策投資銀行	利子補給金	81		
2	株式会社北陸銀行	利子補給金	6		
3	株式会社八十二銀行	利子補給金	5		
4	株式会社長野銀行	利子補給金	1		
5	諏訪信用金庫	利子補給金	0.5		
6	株式会社富山銀行	利子補給金	0.3		
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	A株式会社	利子補給金	23		
2	B株式会社	利子補給金	12		
3	C株式会社	利子補給金	8		
4	D株式会社	利子補給金	7		
5	E株式会社	利子補給金	7		
6	F株式会社	利子補給金	6		
7	G株式会社	利子補給金	6		
8	H株式会社	利子補給金	3		
9	I株式会社	利子補給金	3		
10	J株式会社	利子補給金	3		